

カリキュラム・マップ2026【理学部・情報数理学科】

DP1	学問における学びの中で、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、論理的思考力・数理的判断力を高めるとともに、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて必須である基本的な英語力を有している。
DP3	自身の専門に関する学びを通して、情報数理の知識と技能を修得し、現代社会の多様な問題の解決に貢献する意欲と能力を身につけて、将来にわたり自らの専門性を高めていこうとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習Ⅰ	必修	1	○	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習Ⅱ	必修	1	○	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力実践演習	必修	1	○	◎	
基本科目		コミュニケーションのための基礎英語A	必修	1	○	◎	
基本科目		コミュニケーションのための基礎英語B	必修	1	○	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナーⅠ	必修	1	○	○	◎
基本科目	●	フレッシュマンセミナーⅡ	必修	1	○	○	◎
専門科目	●	微分積分Ⅰ	必修	1		○	◎
専門科目	●	微分積分Ⅱ	必修	1		○	◎
専門科目	●	線型代数Ⅰ	必修	1		○	◎
専門科目	●	線型代数Ⅱ	必修	1		○	◎
専門科目	●	データ解析基礎	必修	1		○	◎
専門科目	●	アルゴリズムとデータ構造	選択	1			◎
専門科目	●	論理演算と算術演算	選択	1			◎
専門科目	●	集合	選択	1			◎
専門科目	●	確率・統計Ⅰ	選択	1			◎
専門科目	●	データサイエンス入門	選択	1			◎
専門科目	●	計算科学Ⅰ	選択	1			◎
専門科目	●	計算科学Ⅱ	選択	1			◎
専門科目	●	位相	選択	2			◎
専門科目	●	代数学概論	選択	2			◎
専門科目	●	幾何学概論	選択	2			◎
専門科目	●	解析学概論	選択	2			◎
専門科目	●	フーリエ解析	選択	2			◎
専門科目	●	離散数学	選択	2			◎
専門科目	●	変量データ解析Ⅰ	選択	2			◎
専門科目	●	オートマトンと形式言語	選択	2			◎
専門科目	●	データベース	選択	2			◎
専門科目	●	計算機構成論	選択	2			◎
専門科目	●	プログラミング入門	選択	2			◎
専門科目	●	プログラミング	選択	2			◎
専門科目	●	ゲーム理論とAI	選択	2			◎
専門科目	●	数値解析基礎	選択	2			◎
専門科目	●	確率・統計Ⅱ	選択	2			◎
専門科目	●	最適化の数理	選択	2			◎
専門科目	●	離散的最適化	選択	2			◎
専門科目	●	情報社会	選択	2			◎
専門科目		インターンシップⅠ	選択	2	○	◎	
専門科目	●	代数学Ⅰ	選択	3			◎
専門科目	●	代数学Ⅱ	選択	3			◎
専門科目	●	トポロジー	選択	3			◎
専門科目	●	幾何学概論	1/4 選択	3			◎

カリキュラム・マップ2026【理学部・情報数理学科】

DP1	学問における学びの中で、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、論理的思考力・数理的判断力を高めるとともに、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて必須である基本的な英語力を有している。
DP3	自身の専門に関する学びを通して、情報数理の知識と技能を修得し、現代社会の多様な問題の解決に貢献する意欲と能力を身につけて、将来にわたり自らの専門性を高めていこうとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択 必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目	●	微分方程式論 I	選択	3			◎
専門科目	●	微分方程式論 II	選択	3			◎
専門科目	●	複素関数論	選択	3			◎
専門科目	●	人工知能の数理	選択	3			◎
専門科目	●	計算論理学	選択	3			◎
専門科目	●	応用プログラミング	選択	3			◎
専門科目	●	応用数値解析 I	選択	3			◎
専門科目	●	応用数値解析 II	選択	3			◎
専門科目	●	量子計算	選択	3			◎
専門科目	●	暗号理論	選択	3			◎
専門科目	●	符号理論 I	選択	3			◎
専門科目	●	符号理論 II	選択	3			◎
専門科目	●	最適化理論と深層学習	選択	3			◎
専門科目	●	進化と数学	選択	3			◎
専門科目	●	応用統計学	選択	3			◎
専門科目	●	時系列解析	選択	3			◎
専門科目	●	数理データサイエンス	選択	3			◎
専門科目	●	多変量データ解析 II	選択	3			◎
専門科目		インターンシップ II	選択	3	○	◎	
専門科目		情報科学特別講義	選択	4			◎
専門科目		統計・データサイエンス特別講義	選択	4			◎
専門科目		数学特別講義	選択	4			◎
専門科目	●	情報数理セミナー I	選択	2		◎	○
専門科目	●	情報数理セミナー II	選択	3		◎	○
専門科目	●	情報数理セミナー III	選択	4		◎	○
専門科目	●	卒業研究	必修	4	○	◎	○
関連科目		数学序論	選択	1	○	○	◎
関連科目		物理学概論	選択	1	○	○	
関連科目		化学概論	選択	1	○	○	
関連科目		地学概論	選択	1	○	○	
関連科目		地球表層の科学	選択	1	○	○	
関連科目		生物学概論	選択	1	○	○	
関連科目		経済学の考え方	選択	1	○	○	
関連科目		金融入門	選択	1	○	○	
関連科目		経営学	選択	1	○	○	
関連科目		歴史学	選択	1	○	○	
関連科目		文学	選択	1	○	○	
関連科目		現代社会と法 I (日本国憲法)	選択	1	○	○	
関連科目		現代社会と法 II (国際法を含む)	選択	1	○	○	
関連科目		生涯スポーツ論	選択	1	○	○	
関連科目		健康スポーツ I A	選択	1	○	○	
関連科目		健康スポーツ I B	2/4 選択	1	○	○	

カリキュラム・マップ2026【理学部・情報数理学科】

DP1	学問における学びの中で、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、論理的思考力・数理的判断力を高めるとともに、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて必須である基本的な英語力を有している。
DP3	自身の専門に関する学びを通して、情報数理の知識と技能を修得し、現代社会の多様な問題の解決に貢献する意欲と能力を身につけて、将来にわたり自らの専門性を高めていこうとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		心理学 I	選択	1	○	○	
関連科目		心理学 II	選択	1	○	○	
関連科目		Oral English I A	選択	1	○	◎	
関連科目		Oral English I B	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語 I A	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語 I B	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		資格英語 II B	選択	2	○	◎	
関連科目		ドイツ語 I A	選択	1	○	◎	
関連科目		ドイツ語 I B	選択	1	○	◎	
関連科目		ドイツ語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		ドイツ語 II B	選択	2	○	◎	
関連科目		フランス語 I A	選択	1	○	◎	
関連科目		フランス語 I B	選択	1	○	◎	
関連科目		フランス語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		フランス語 II B	選択	2	○	◎	
関連科目		中国語 I A	選択	1	○	◎	
関連科目		中国語 I B	選択	1	○	◎	
関連科目		中国語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		中国語 II B	選択	2	○	◎	
関連科目		海外研修 I	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 II	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 III	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 IV	選択	1	○	◎	
自由科目		教育学概論 A	選択	1	○	○	
自由科目		教育学概論 B	選択	1	○	○	
自由科目		教職論	選択	1	○	○	
自由科目		教育課程論(総合的な学習・探究の時間の指導法を含む)	選択	1	○	○	
自由科目		教育史	選択	1	○	○	
自由科目		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	選択	2	○	○	
自由科目		教育心理学	選択	2	○	○	
自由科目		教育方法及びICT指導法	選択	2	○	◎	
自由科目		特別支援教育	選択	2	○	○	
自由科目		道德教育の理論と指導法	選択	2	○	○	
自由科目		特別活動論	選択	3	○	○	
自由科目		教育相談(カウンセリングを含む)	選択	3	○	○	
自由科目		数学科教育法 A	選択	3	○	○	○
自由科目		数学科教育法 B	選択	3	○	○	○
自由科目		数学科教育法 C	選択	3	○	○	○
自由科目		数学科教育法 D	選択	3	○	○	○
自由科目		情報科教育法 A	選択	3	○	○	○
自由科目		情報科教育法 B	選択	3	○	○	○

カリキュラム・マップ2026【理学部・情報数理学科】

DP1	学問における学びの中で、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、論理的思考力・数理的判断力を高めるとともに、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて必須である基本的な英語力を有している。
DP3	自身の専門に関する学びを通して、情報数理の知識と技能を修得し、現代社会の多様な問題の解決に貢献する意欲と能力を身につけて、将来にわたり自らの専門性を高めていこうとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
自由科目		介護等体験実習(事前及び事後指導を含む)	選択	3	○	○	
自由科目		教職実践演習(中・高)	選択	4	○	◎	
自由科目		教育実習 I (事前及び事後指導を含む)	選択	4	○	◎	
自由科目		教育実習 II	選択	4	○	◎	